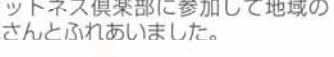
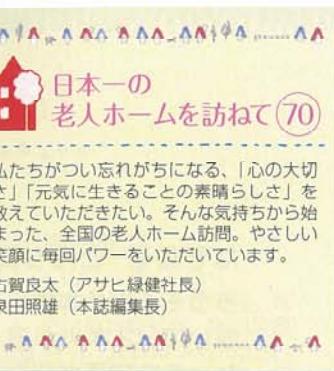




シニアのライフスタイルにぴったり! フィットネス俱楽部併設の サービス付き高齢者向け住宅

社会福祉法人さつき会は日本でトップクラスのケアを実践してきました。今春、サービス付き高齢者向け住宅とフィットネス俱楽部と地域交流スペースを合築した先進的施設をオープンしました。

北海道上川郡鷹栖町 社会福祉法人さつき会
サービス付き高齢者向け住宅 ぬくもりの家たかほ
フィットネス俱楽部 コレカラ 地域交流スペース あえーる



シニアの体力に合わせた最新のマシン。
左端が理学療法士の大矢敏之さん。

フィットネス倶楽部コレカラの利用者のみなさん。
左から二人目がアサヒ緑健社長古賀良太。

ィットネス倶楽部に参加して地域のなさんとふれあいました。



フィットネス俱楽部で開かれているレッスンコード教室の様子。

本幹を鍛えバランス機能を強化する
ハンドコードを体験する古賀社長。

 フィットネス俱楽部には
最新のマシンを導入

フィットネス俱楽部には
最新のマシンを導入

の方でにぎわっています。また、
フィットネス俱楽部では約三〇人
の住民サポートーが活躍していま
す。機器の使い方の説明や運動教
室のアシスタントをして、運営を
支えています。

同じ建物にあるサービス付き高齢者向け住宅は一八室。全室個室です。二四時間三六五日スタッフが常駐し、日常生活の悩みや介護サービスの相談にのってくれます。食事は食堂に隣接するキッチンで毎日三食調理。できたてのあたたかい料理をビュッフェ形式で提供します。四季折々の食材を使つた栄養バランスのとれたメニューを管理栄養士がつくつくれます。



家賃は月三万五〇〇〇円。食費
は四万三〇〇〇円、光熱水費等を

□お問い合わせ先 鷺栖さつき苑 TEL 0166(87)3321

*1コグニサイズ 運動をしながら計算やクイズなどの認知課題をするエクササイズ。一度に二つの課題を行うことで認知症予防に効果があると言われている。

地域交流スペース「あえーる」



ランチを作っているスタッフのみさん。地元の野菜を使っています。



カフェのランチ。



カフェの様子。いつも大勢のお客さんにぎわっています。



月2回開かれているパンの販売会。



カフェのスタッフ。この日は娘さんがお手伝い。

谷本政美介護部長。
一階にある地域交流スペースは、食を中心とした住民の仲間づくり、健康づくりの拠点です。週一回、住民によるカフェや地域食堂がオープンしています。毎月一回、管理栄養士による健康新聞教室が開かれています。

「高齢者の健康づくりに食事は重要です。カフェや地域食堂は出会いをつくります。活動を広げていきたいと思っています」と己上純子管理栄養士。

波渕幸敏常務理事は説明します。「この施設ができたことで、介護予防から終末期のケアまで切れ目のないサービスを提供できるようになりました。今後も充実したサービス提供体制をえていきたいと思います」

S
ムヘルパーステーションからサービスを受けることができま
す。さつき会のデイサービスや小規模多機能ホーム、ショートステイを使うこともできます。

「認知症になつても、介護が必要になつても、安心して暮らし続けていただきたいですね」と

サービス付き高齢者向け住宅



明るく元気なホームヘルバーステーションのスタッフのみさん。



明るい雰囲気の食堂。栄養豊富でおいしい食事を提供します。



高齢者向け住宅で開かれたそうめん流し。盛り上がりました。

加えて月額一一万六〇〇円であります。収入による家賃の減免制度もあります。

介護が必要な時は一階のホー

ムヘルパーステーションからサービスを受けることができま

す。さつき会のデイサービスや

小規模多機能ホーム、ショート

ステイを使うこともできます。

「認知症になつても、介護が必要になつても、安心して暮らし

続けていただきたいですね」と

谷本政美介護部長。

一階にある地域交流スペースは、食を中心とした住民の仲間づくり、健康づくりの拠点です。週一回、住民によるカフェや地域食堂がオープンしています。

毎月一回、管理栄養士による健

康料理教室が開かれています。

「高齢者の健康づくりに食事は

重要です。カフェや地域食堂は

出会いをつくります。活動を広

げていきたいと思っています」

と己上純子管理栄養士。

波渕幸敏常務理事は説明しま

す。「この施設ができたことで、

介護予防から終末期のケアまで

切れ目のないサービスを提供で

きるようになりました。今後も

充実したサービス提供体制を整えていきたいと思います」

地域住民が待ち望んでいた介護予防施設



左から社会福祉法人さつき会尾上健介在宅サービス部長、波渕幸敏常務理事、アサヒ緑健社長古賀良太、谷本政美介護部長。

地域住民が待ち望んでいた介護予防施設

サービス付き高齢者向け住宅を維持したり、地域交流スペースで友人、知人と「ミニユニークーション」をとりすることで、暮らしにハリやうおいが生まれます。開設して数ヶ月で登録者が一六〇人にもなったことからもわかるように、これこそ地域住民が待ち望んでいた施設だったのです。地域食堂では子どもたちが高齢者と楽しそうに話をしていました。フィットネス俱楽部からは笑い声が響きます。引きこもりや孤立ではなく、人々とのつながりを感じながら暮らせる高齢者住宅です。こういった施設が日本の中高齢者介護の未来を明るくしていきました。(古賀良太)